

1.ラマザンさん、こんにちは。私は、ホフディランの小宮山雄飛と言います。あなたの占術である数秘術やご自身のお仕事について、お話を伺わせてください。

小宮山雄飛さん、こんにちは。私のことをご存知の方は、皆さん私の数秘術に興味を示してくださっています。でも実は、説明するのはとても難しいのです。というのも、文字の並び方で計算する、というシステムなのです。私の職業はライフコーチで、世界の謙虚な存在たちからの教えを通じて行っています。また、私自身の特別な特徴というのも当然あります。神は、世界を創造する以前に数を創造したことがわかります。なぜならこの世は全てバランスがとれているのですから。人間は、数がすべてを変革すると考え、数の研究に取り組みました。数によって未来を創造し、さらには予見することができる考えた人間は、様々な文化や言語で経験を重ねてきました。人は、誰しも学びたいのです。自然なことですが、耳で聞くことにより喜びを感じます。音楽でも同じです。反発する力は学びと革新を理由に存在を新たにします。また、数が呼び込む周波数というものがあり、全て、受け取り手が存在することも、誰もが敬意を払われることも、理解して行っています。数と会話するような感覚です。人生を変えたいと思っている人々のために、数の力を借りている、ということですね。

2.ホフディランという名前、そして、小宮山雄飛と渡辺真という名前は、数秘術ではどんな風に読み取れるのでしょうか？

「ホフディラン」は素晴らしい名前です。グループの結成時あらゆるサポートを受け取ってスタートされたようですね、お金の問題もなかったらうなと思います。お二人はそれぞれの才能を持っていて、二人でホフディランになったことの調和も完璧で、それは今後もずっと続くでしょう。これは、まさに神からの最高のギフトです。小宮山さんはキャラクターとしてはリーダーシップをとる人で、嘘をつきませんし、仕事は技術的な面できちんと計算して間違いがないようにやりたがる気質で、短い歌を好みます。まさに、社長気質の方です。渡辺さんは音楽と寝食を共にするような方で、ホフディランのムードメーカーです。ただ、小宮山さんほど責任感が強くなく、その点であなた方のサクセスストーリーにおける難所ですね。でもまだ、これから後世に残る作品を残すような成功を収めることは可能ですよ。でも、ただホフディランであることを大切にすることで、十分それを叶えることはできるんですけどね。芸術というのは保守性を好みません、革新性が求められます。音楽の世界でも、声やメロディーに様々なイメージを呼び起こさせ、リスナーの存在を感じ、全てのリスナーに敬意をもって取り組むということが必要です。ほんのわずかな変化でこれを実行することはできますよ。

3.ラマザンさんはどうやってこれまでお仕事されてきたのですか？宣伝もなしでここまで有名になられて、外国で日本人の信頼を勝ち得たのは、どんなふうにお仕事されてきたから

なのでしょう？

私の職業は「ライフコーチ」といわれるものなのです。私は生まれながらに占い師としての才能がありました。しかし、実際に私の職業はというと、「ライフコーチ」だということができます。互いに矛盾し錯綜した多面的な探求の宇宙の中で、最良の人生を送るという基本原理に沿って、全体的にその方の人生を見ながら、最適な解決方法を見つけだすお手伝いをしています。その方が、今いる地点から目標とする地点まで行くまでの過程で人生に満足し、バランスのとれた人生を送れるように、私独自のやり方で瞑想を行い精神的に支えていきます。目標とする地点までの道のりで人生に満足感を覚えバランスをとるには、まずはご本人が自分自身を信じるのが大切です。だから、自信が持てるようになるためのお手伝いもしています。自分では解決できないような問題も、その方が新たに自信を持つことで解決へと導きます。しかも、とても短期間でそれを実感するでしょう。

ナチュラルなその方自身の姿、そして、本当に望んでいるのは何か？あるいは、よりよい自分や、心から望んでいることを見つけるため、探し求めているものに到達できるよう、お手伝いしています。

その方が人生のあらゆる場面でよりスピーディーに前へ進み、客観的に自分を見て、自分の本来の内面を観察し、理解し、自分を再発見し、潜在能力を最大限に使えるよう、お手伝いするのが私の仕事です。

成長と変化についてお話ししながら、人生が映し出しているもののバランスをとっていき、その方自身が選んだ人生に感謝し、これに逆らうことなく生きていかれるよう、お伝えしています。

私のライフコーチとしての役割は、人がよりよく生きるための技術を提供する仕事と言えるでしょう。

4.ワタナベイビーさんの性格などはどうやって分かったのでしょうか？（数字で分かる、頭に浮かんでくる、映像として見えるなど）

まずはお写真を拝見し、次に、彼のことを理解するにあたってお名前を鑑定しました。それから誕生日と性格を見ていき、そうすることでゆっくりと彼自身のことや、彼の行動がライブ映像のように見え始めました。見えたことをあなた方にそのままお伝えしました。これは、決して悪用されるような類のものではありません。小宮山さんは、これまで長いことご一緒にお仕事されてきたビジネスパートナーのことを、私の話を聞いたことでやっと知ったようです。あの瞬間、全員が驚かれましたね。でも、私のお伝えしたことはその通りだったのでしょうか？これは、私にはとてもシンプルにできることなのです。彼が今ここにいるような形でお話しました。

5.小宮山さん、辛酸さん、秋吉健太、小堀訓の4名を診ていただきましたが、この4名の相性はいかがでしょう？よりよく生きるためのアドバイスもありましたらお願いします。

ヤフーライフマガジンでの小宮山さんは、読者に呼びかける才能が素晴らしいです。ただ、このお仕事に没頭しているというのではないですね。あるいは、何か理由があって本当のキャパシティーで仕事に集中していないように見えます。取材相手とのやりとりという点ではとても素晴らしいお仕事をされています。会話のセンスが素晴らしく、相手の話を理解する能力に長けています。お話をされるとき、おなじ単語を繰り返さないため、お相手の方もそれにつられていきますから、その結果、とてもよいインタビューになるというわけです。

辛酸さんのことは2004年から存じ上げています。物理的にも精神的にもとてもパワフルな方で、どこに行っても愛される性格です。とても入念なお仕事をされます。このお仕事では本来の能力をまだ出し切っていないようですが、社会性がある人脈が豊富でエネルギーがあるので、誰からも愛されるのです。人に何かを教える必要がなく、自分で見てより良い方法を編み出すことができ、誰とでも仕事ができます。

秋吉健太さんは、このお仕事でなくてはならない方で、彼がリーダーです。皆さんの中で一番いい仕事をなさっている、いつもよりよい仕事をしようとしているのはこの方です。彼がいることでこの仕事はうまくいっているのです。

小堀訓さんにも、辛酸さんのような入念さが見られます。場を創造する人です。誰にも真似できないような計算力の持ち主です。あなたもまだこの仕事で本来の能力を発揮していません。他の方たちと一緒に働くことで、よい成果を得られるでしょう。

6.ラマザンさんからいただいた数字は、ラッキーナンバーのようなものでしょうか？

そうです。お名前を鑑定させていただいて、ラッキーナンバーを見てみました。上には「神は足る」と書いてあって、下には「神は知る」と書いてあります。人は生まれ、守られ、最後にはこの世を去ります。生きるとは、守られるから叶うのです。私のところに来られる病氣をお持ちの方が守っていただけるように、お守りも用意しています。数は入り口です。お財布に入れて持ち歩くお守りは、保護とチャンスを開くための入り口です。私の仕事は、皆さんを悪しき事から守る、というところから始めています。

8.小宮山さんのブルーと緑のオーラはどんな意味がありますでしょうか

最初に言うておきますね。「7」という数字をわざと飛ばしています。

インディゴブルーのポテンシャル：他者への責任感、労働、願いが叶わないことの不幸福感、あるいは保護を表しています。古くは、インディゴは植物から、今では合成の染料として使われています。魂レベルが最も高い存在たちはインディゴブルーとして見えることがあります。この色は魂の世界の色なのです。魂には神経がありません。ブルーは、この世で最も偉大な色です。

緑のポテンシャル：癒し。緑のオーラは治癒、学び、物理的な拡大を表す色です。名医、外科医のオーラの色は緑です。オーラについては私の著書で詳しく説明してあるので、読んでいただくといいと思います。

#### 9. ラマザンさんのサロンにある動物の剥製や毛皮も、しゃべったりするのでしょうか？

解決が難しい問題を抱えていらっしゃる方がいらした時などは、瞑想して繋がります。魂が肉体から出ていくとき、ここにいる動物たちの意識と繋がることもありますよ。例えば、亀は、不可能とも思える家庭内の問題の解決の手助けをしてくれます。アルコール、喫煙、ギャンブル、あるいはここには書けないような依存症をお持ちの方たちでも、最長で2週間あればどなたでも抜け出すお手伝いができます。その方の年齢は関係ありません。

#### 10. 異国から日本にいらっしゃったラマザンさんからご覧になって、日本人の長所と問題点をお教えてください。

日本人は素晴らしい教育によって成長しました。今後もこの傾向は続くでしょう。日本人は他とは違った文化を持っています。とても大切なことを申し上げますか。500年前まで、日本は死体や人間の肉体について素晴らしい知識を持っていました。だから、日本人は健康で長生きしたのです。日本人は学んだことを実践していました、あるいは、実践させられていました。日本人は、この地に2万年前の氷河期に、ウラル山脈やアルタイ山脈あたりから来た人々です。(地球科学もこれを証明していますが、進化論が浸透するにつれ、歴史は書き換えられてしまいました)とても困難な自然条件のもと、互いに助け合い離れ離れにならないよう、言語を発展させながら生きてきました。地震災害時に見られる助け合いや、瓦礫の山の中から迅速に町を立て直す才能は日本人だけにみられ、他ではないことです。私の国を含め、世界中の人々が日本人のようであったらいいなと思います。これは日本人だけにみられる文化なのですよ。

#### 11. 辛酸なめ子さんのオーラはどんな色でしたでしょうか？どのような意味がありますでしょうか？

イエローゴールドのポテンシャル：ボーダレス、そして、大変スピリチュアルな性質をお持ち

ちです。あらゆる謙虚な存在は全身にとっても大きなイエローゴールドのオーラを持っています。これはベースのオーラカラーとしては一番パワフルです。

## 12. 今後、日本人が気を付けるべきことはどんなことでしょうか？

気をつけなければならないことは沢山ありますが、見えていることから言えるのは、根拠のない宗教組織を作って自らを神であるかのように見せるような人たちのグループには入らないように、ということです。信仰心はジャッジされるべきものではありません、それはもちろんです。しかし、正しくないものには私は反対します。

## 13. 数秘術体験の際に見せていただいたリンゴ酢と蛇を入れた瓶は、その後どうされるのでしょうか？

まず、小宮山さんが願い事を書いた紙に 620 種類のスタンプを押します。7 回お祈りの言葉を唱えてから、結んだ糸で真ん中に入れて紙を折ります。そして、この紙を、この蛇の入っている瓶に入れます。瓶の中には 54 人分の願い事が書かれた紙もここに入っています。最後に、願い事が書かれた紙の中に結び目が 9 つある糸を入れます。「9」は女性性を表します。女性は 9 月と 10 日で出産しますよね。そして、神は天の 9 層にいます。(スタンプやインクは全て自分で創っています。サフラン、ムスク、琥珀、バラ水、バラのオイルをミックスさせたものを使って、悪しき魂が願い事の邪魔をしないようにしています) お気づきだと思いますが、インクはとても良い香りがするでしょう？リンゴ酢を入れるとき、お祈りをして蓋を閉じます。次第に瓶の中のものが溶けていきます。ときどき瓶を振っておきます。適当な時が来たら、人が踏まないような土の上に中身を空けます。紙は乾かしておいて、年始などに日本の神聖な場所で火にくべて燃やします。このことを覚えておいていただきたいのですが、私は 5000 種類のミルラ（没薬）で数百の願い事を叶えるお手伝いをしてきました。いつもやっているわけではありません、他にも方法はあります。私が使っている素材はとても高価で、このやり方は世界で他には誰もできません。ただ才能や知識があればいいというものでもないのです。謙虚な存在たちの教えはその存在たちの監視下で行われます。撮影中もここに来ていましたよ。今回のこの面白い試みは、小宮山さんの願いごとのために行いました。(注：今回使用された蛇は乾燥されたもので、日本でも簡単に入手できます。動物の取引は行っていません)

## 14. 魂のレベルを高めるにはどうしたら良いのでしょうか？

魂にとっての難敵は恐怖心です。肉体は魂からエネルギーを得ています。恐怖心を克服できれば、魂が進化します。魂は、宗教や哲学では人間存在の非物質的側面、あるいは核の部分

と認識されています。通常、「自己」と同義とみなされます。一方、神学においては個人が神性へと統合する部分として定義され、通常、肉体の死後、個として存在し続ける部分として認識されています。魂の生きている部分が肉体であり、死んでいる部分が魂であるとも言えます。魂の世界は複数形です。塩にもスピリットがあり、ミントの葉にもスピリットがあります、他の物質にもあります。日本でも、入口に盛り塩をしますけれど、皆さんどういう意味があるかわからないままやっておられます。エプソムソルトは悪しきスピリットを遠ざけ、乾燥ミントあるいはフレッシュミントは健康なスピリットを招き入れ、ラベンダーは虫のスピリットを追い出します。魂についての解説は私の著書の中に詳しく書いてあります。魂は永遠です。私の仕事は人々のハイヤーセルフと繋がって、魂レベルでその方がよくなることをお手伝いするものです。論理的かつ正しい情報に基づいて神を信頼し魂レベルで安心を得られるようにします。魂は五感を通じて情報を送ってきます。人間や動物、そして外界からのサインは、見る、聞く、嗅ぐ、触る、味わうといった五感を通じて認識されます。身体的な機能を通じて五感鍛えられます。五感を失ってしまえば、世界を失うのと同じです。五感を失ってしまった場合、芸術的な感性を持った知識人は育ちません。数学の世界ならあり得るかもしれませんが。数学は科学の言語です。数の重要性和魂や感覚の重要性はそれぞれに異なるものです。私が使っている技術は、人を良くするためのものです。お金を払って占星術を学んだ人、あるいは学ぼうとしている人でも、最終的には数秘を学ぶことになります。感情が置き去りにされる傾向がありますが、感情を磨くことはとても大切です。私の師たちは謙虚な存在たちです。私はいつもその存在たちの声を聞いています。師はこちらが学びの態勢が整って初めて現れるものです。師が現れたということは、あなたの準備が整ったということですから、あとはその教えに従えばよいのです。